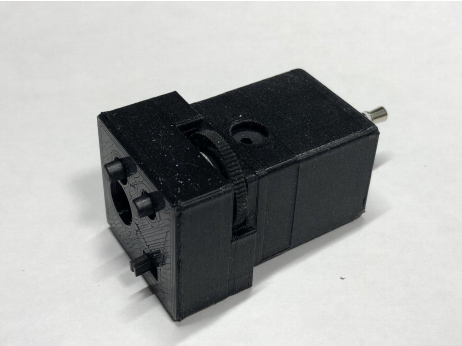
Pocke Paddle Keyer

Pocke PaddleⅡ　ドッキング専用キーヤー
2ch メッセージメモリ付き

Ver1.0　2020/12/5　by　Pocke Tech

【主な特徴・仕様】

- Pocke Paddle のバックサイドにダイレクト接続
- ２ｃｈ メッセージメモリー機能
- 長・短点メモリー
- スクイーズ機能
- VR による簡単スピード調整
- 無操作での 10 分後　パワーダウン機能
- ブザー On/Off 切替可能
- 右打、左打（短点、長点）切替可能



製作難易度ランク：★☆☆☆☆（組立済）

・　電源 ON/OFF

本機には、電源 ON/OFF スイッチはついていません。

本機を Pocke Paddle に接続することによって電源 ON となります。

電源を OFF するには、本機を Pocke Paddlekara 取り外します。

本機は、約 10 分間何も操作しなった場合自動的にスリープモードとなり、この時の電流値は数μA でほとんど電力を消費せず、電池の消耗は僅かで接続したままでもほとんど問題はないと思います。

・ 送信

(1)通常送信

エレキー用パドルが接続された状態で、短点、長点の操作により、ブザーによる入力されたモールス信号の音声が出力されると共に、キー出力からキー制御信号が出力されます。（※1 ブザー音は消すことも可能）

(2) メッセージ送信

メモリーボタンを押すことにより、あらかじめ記録されたメッセージモールス信号が自動的に送信されます。

メモリーボタンは、1、2 の２ch 分装備されており、２種類のメッセージを送信することが出来ます。

メッセージ送信中、パドル操作をすることによって途中キャンセルする事もできます。

・ メッセージのメモリー方法

① ”REC MODE” スイッチを ON にします。

ブザーが ”ピ、ピ、ピ”、と 3 回鳴ります。

② メモリーさせるメモリーボタンを押します。

1 番のメモリーキーを押した場合、”ピ”、とブザーが 1 回鳴ります。

2 番のメモリーキーを押した場合、”ピ、ピ”、とブザーが 2 回鳴ります。

この操作により、パドルからキー入力待機状態となります。

最初のパドルキー入力操作が実行されるまで、メモリーは開始されません。

最初の短点、長点の入力をずっと待っています。

③ 通常の送信と同じように、パドル操作を行い、メモリーしたいメッセージを打ち込みます。

④ メモリーされる最大ステップ容量は、短点、長点、スペースを含めて、1 メッセージあたり 128 となります。

例：JN3XBY と入力した場合

- ーーー_ ー-_--- ーー_ ー--ー_ ー--- _ー-ーー _ となり、

全部で 6 ステップとなります。

⑤ メッセージの入力が終了は、パドル操作を終了してスペースの時間が文字間スペースの 4 倍以上になった場合に、ブザーが”ピ、ピ、ピ”、と 3 回鳴って入力ステップが 128 に満たなくても、自動的にメモリー状態から脱出します。

この時、メッセージには、ステップ数が 128 に達していなくても、メッ

セージ終了のデータが自動的に書き込まれます。

逆に、メッセージのステップ数が 128 を超えた場合、自動的にメモリー操作が強制終了されます。

⑥ メッセージの入力を間違えた場合、メッセージの入力終了を検出した”ピ、ピ、ピ”、と鳴るブザー音の後、再度、メモリーキーを押す事により、再入力が可能です。

この時、②と同じように、メモリーボタンの番号の数に対応してブザーが鳴ります。

⑦ メッセージの入力は、”REC MODE” スイッチが ON の間、何度でも書き換えることができます。

⑧ 入力が完了したら、”REC MODE” スイッチを OFF にします。

⑨ メッセージの再生は、１．(2)のメッセージ送信の操作により実行できます。

この時、”REC MODE” スイッチが OFF になっていることを必ず確認ください。ON の状態で、メモリーボタンを押すと、再入力モードになります。

⑩ メッセージのメモリーを行うスピードは、スピード VR によって調整が可能です。

・ ブザー On/Off の切替（※1）

① メモリーボタン″1″を押した状態で本機を Pocke Paddle に接続し、電源を入れます。

ブザー音が”ピ、ピ”と 2 回鳴ったあと無音となります。

② 無音モードから有音に変更するには、同様にメモリーボタン″1″を押した状態で PockePaddle を接続し電源を入れます。

ブザー音が”ピ”と 1 回鳴ったあと有音となります。

・ 短点、長点の切替

① メモリーボタン″2″を押した状態で PockePadlle を接続し電源を入れます。

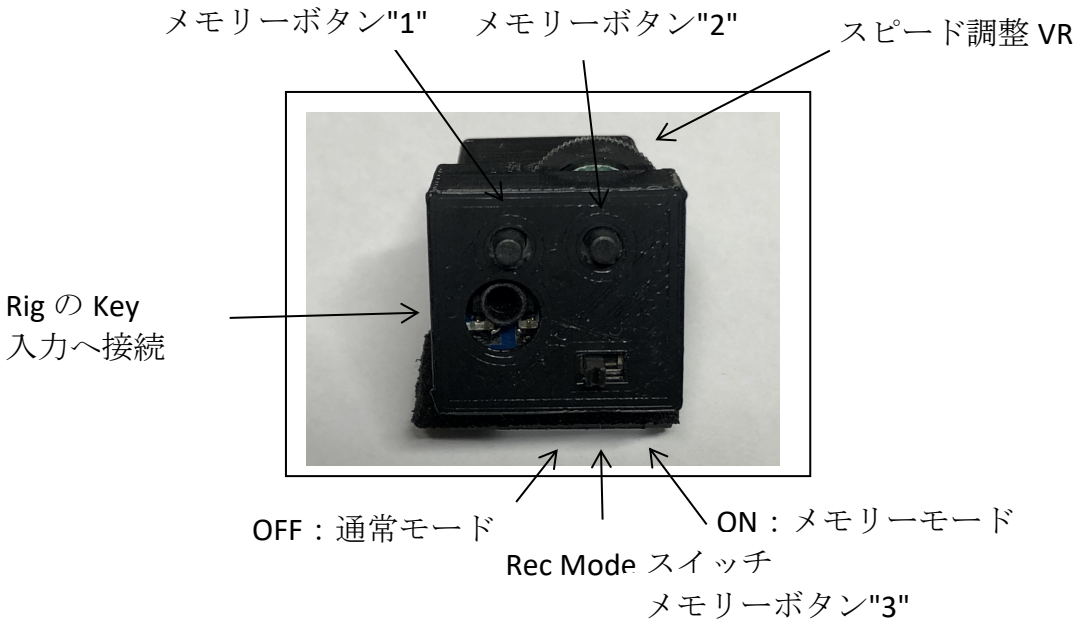
ブザー音が”ピ、ピ、ピ、ピ”と 4 回なった後、短点と長点が入れ替わります。

② 元に戻すには、同様にメモリーボタン″2″を押した状態で PockePaddle を接続し電源を入れます。この時ブザー音が”ピ、ピ、ピ”と 3 回鳴ります。

※注意

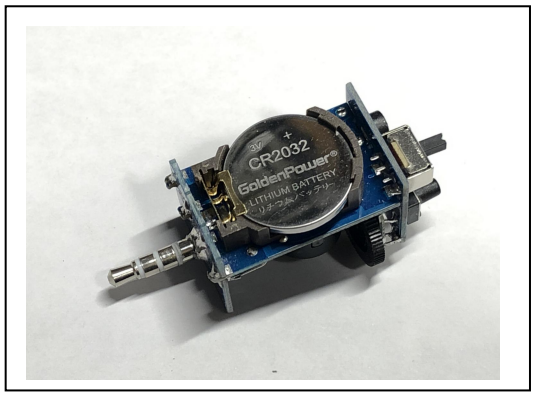
本機を Pocke Paddle に接続するとき、誤ってメモリーボタンを押しながら挿入しないでください。ブザー ON/OFF、短点/長点切り替えが、意図しなくて動作し音が出ないとか慌てることになります。

・ インターフェース

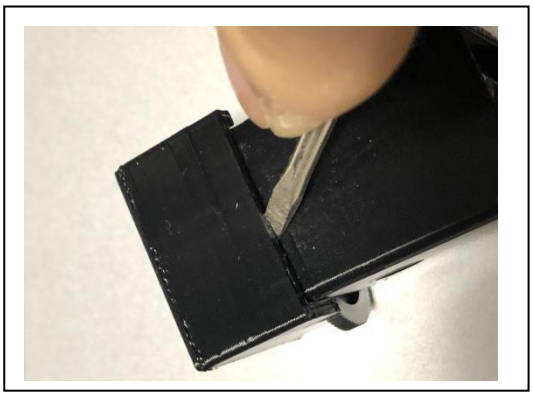


【電池交換】

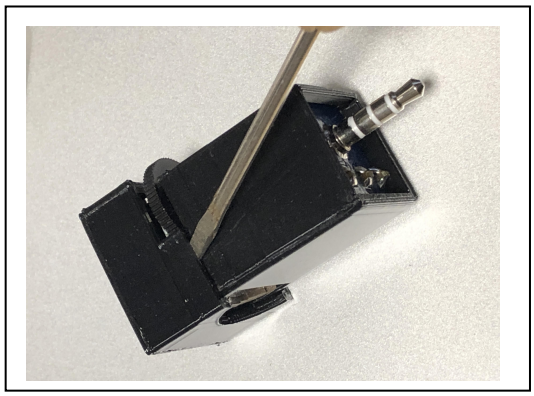
電池は本体裏側の搭載されています。（CR2032 を使用してください）



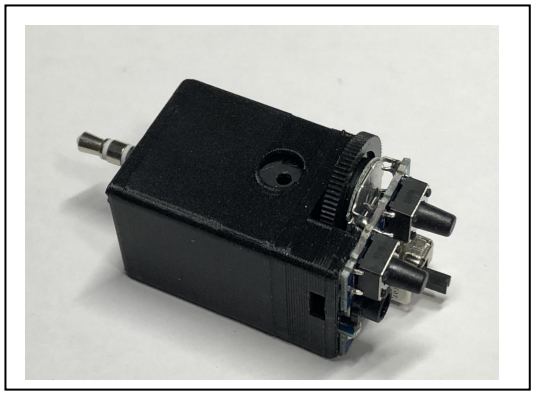
【本体カバーの外し方（必ず下記順番通りに実施してください）】

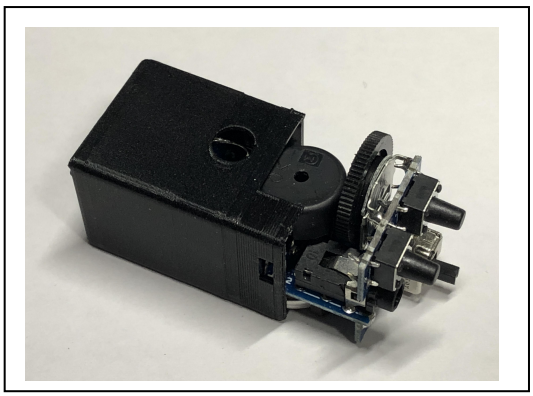


まず、VR のノブがない方上側の隙間にドライバーやピンセットなどの薄いものを差し込んで持ち上げ外カバーをずらします。

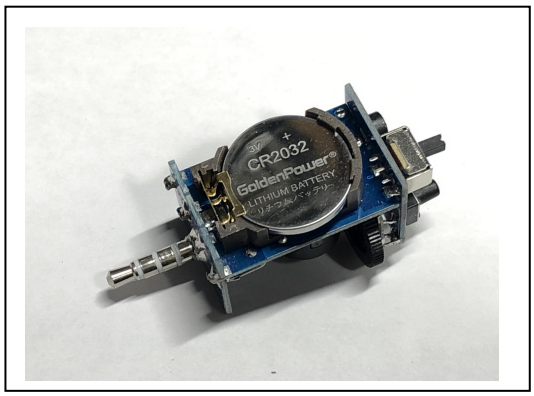


次に、VR のノブのある方の下側の隙間にドライバーやピンセットなど薄いものを差し込んで持ち上げ外カバーをずらします。これで外カバーが外れます。



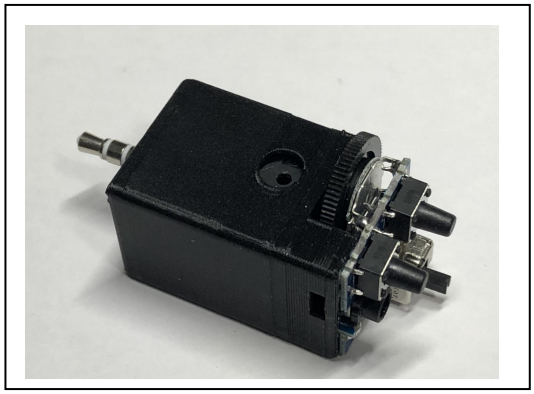


次に、内カバーから基板を引き出します。



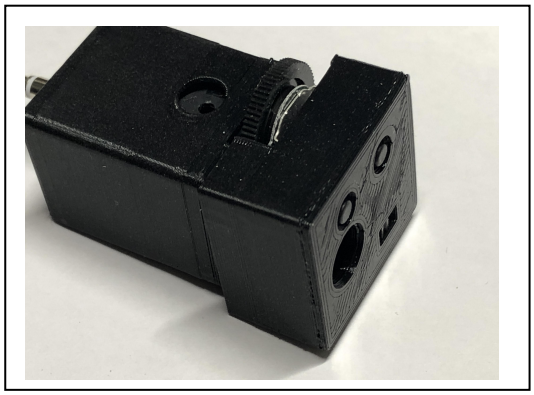
裏返して電池を交換してください。

【本体カバーの取り付け方】



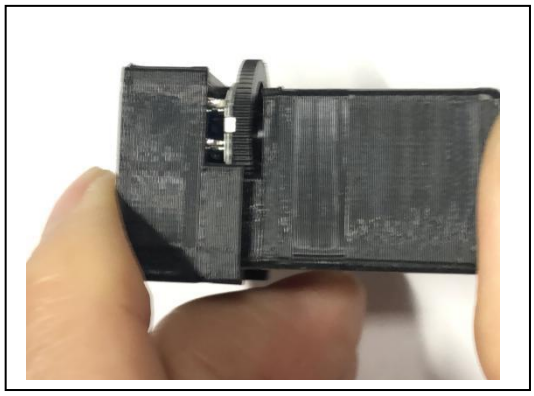
取り外しと逆の作業を実施します。

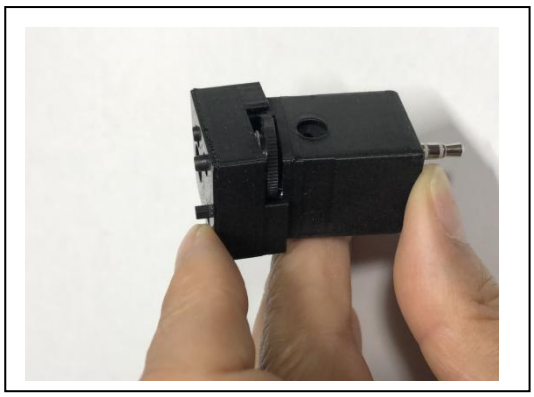
基板を内カバーにゆっくり挿入してください。**ケースは薄く、ギリギリなので無理をすると破損**します。

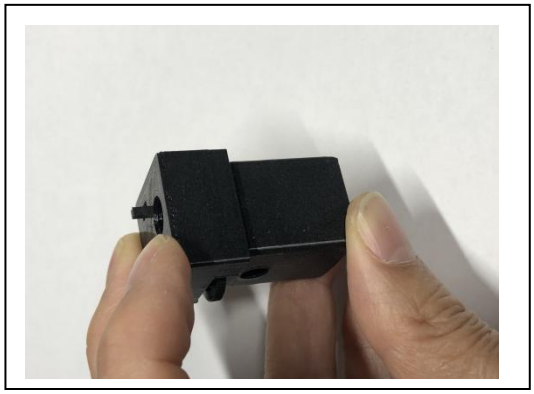


次に、外カバーを軽くかぶせます。

その次に、左下の写真のようにVRノブのある側の下側を、カチンと音がするまで押します。右下の写真のようになります。







次に、VRのノブの無い側の上側をカチンと音がするまで押します。

これで外カバーがかぶせられたと思います。

【ポリシー】

1. このキット（キットを組み立てたものを含む）は、ものを作り上げることを安価で、気楽に楽しんでもらう事を目的として作られたものです。

2. このキットは、素人が設計したものであり、メーカー製のような、性能、機能、品質を保証するものではありません。（保証期間もありません）

3. このキットを製作、また使用して発生したあらゆる影響を排除する保証はできません。

4. このキットを使用において、指定された電源以外の使用、改造使用、また、通常想定される一般的な使用以外での使用方法による故障、また接続された機器の故障等について一切の保証はできません。

5. このキットで設計された回路図、プログラム、その他資料などの許可のない複製、再頒布は禁止しています。また、商業的販売も禁止し、目的としておりません。

※ 自作を楽しみ、自作機での運用を存分に満喫してください。